

## 行幸田獅子舞生誕250周年記念事業

みゆきだしきまい

# 行幸田獅子舞 ワークショップ

2025年

2月9日(日)

13:30 - 16:00



自分だけの獅子頭を作ろう！

獅子の舞を体験しよう！

**対象** 小学生以上（低学年は保護者同伴）

**定員** 30名程度（先着順）

**内容** 獅子舞の解説、獅子頭の作成  
行幸田獅子舞の鑑賞、体験

大人の方や  
保護者の方の  
ご参加も大歓迎！

**服装・持ち物** 動きやすい服装、飲み物

**会場** 渋川中央公民館 ホール他  
渋川市渋川908番地21

参加費  
無料！  
(要事前申込)

### 講師

みゆきだかわすくねじんじや  
行幸田甲波宿禰神社  
獅子舞保存会



詳しい紹介は裏面をご覧下さい

### 申込み・問合せ

(公財)群馬県教育文化事業団

027-243-7200 事業支援課（直通）

受付時間 8:30 - 17:00

年末年始・日曜・月曜・祝日及び月曜日が祝日の場合は翌火曜日を除く

昨年度の様子は  
YouTubeで公開中！

主催 群馬県、(公財)群馬県教育文化事業団

共催 渋川市教育委員会

後援 群馬県教育委員会、上毛新聞社、第48回県民芸術祭運営委員会



み ゆ き だ し し ま い  
..... 行幸田獅子舞 .....



行幸田獅子舞は、中筋の東西にあった諏訪神社に古くから奉納されてきたと伝えられています。

舞の唄に「獅子の生まれは京都で生まれて伊勢の育ち」と語られていますが、いつの時代に行幸田に興されたのか記録にはありませんが、獅子が身に着ける腰太鼓の胴内面に「西上州群馬郡湯上村中筋諏訪宮御鼓 安永二年七月十三日」と墨記されており、これを起源とすると令和5年に生誕250年を迎えるました。  
※安永二年：西暦 1773 年（江戸時代）

明治42年4月17日に行幸田10社合祀により、現在の行幸田甲波宿禰神社の春祭りに奉納されるようになり、時には町内の辻々で舞役を交代しながら舞わされてきました。

戦後、中断していましたが消滅を危惧し、昭和47年10月に関口吉郎師範のもと中筋町の新人が舞の指導を受け、昭和49年2月24日に保存会を結成し、神社の春祭りに奉納の運びとなりました。その後、昭和56年11月に谷地町の同志が結合し、笛・舞に加わり一段と力量を整えました。

これまでには、大正14年に靖国神社、昭和55年に伊勢神宮、平成3年に長野県諏訪大社へ奉納しています。

構成は、六つの舞と九つの切りでなり、棒使いが入り笛師、唄方が進行・共演し、先導役のササラ、カンカチが並び赤塗りの雌獅子の前後を雄獅子が挟み、雌獅子を取り巻く雄獅子が争いの後に仲良く治まる筋書きになっています。

昭和49年以後、毎年4月17日に近い日曜日に挙行される行幸田春祭りに「天下泰平、五穀豊穫、無病息災、疫病退散」を祈願し、行幸田地区の皆様が健康で穏やかに生活できますよう獅子舞を奉納しています。

令和6年4月14日（日）の行幸田春祭り・行幸田甲波宿禰神社春季例大祭の際に「生誕250年祭」を実施しました。